

(別添)

令和3年度一般選抜の教科・科目・配点について

令和元年9月30日

三重県立看護大学では、文部科学省による「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」（平成29年7月13日付け）を踏まえ、「2021年度三重県立看護大学入学者選抜について（予告）」を平成30年10月11日に公表しました。その後、検討を重ねて参りました結果、令和3年度一般選抜の教科と科目、配点についてその内容が決定しましたので、お知らせいたします。

なお、大学入学共通テストにおける国語の記述式問題について、一般選抜前期日程と後期日程において利用すると予告しましたが、この方針を変更し、いずれの日程においても利用を見合わせることにしました。これは、大学入試センターによる記述式問題における評価方法への対応の進捗状況を勘案するとともに、国語の記述式問題で問われている能力をこれ以外の方法によって評価することができるかと判断したためです。ただし、令和4年度入学者選抜以降の一般選抜については、実施状況を見極めながら対応を検討することとし、変更が生じる場合には事前に予告いたします。

1 前期日程

調査書の審査、「大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」という。）」、本学が実施する個別学力検査及び面接の結果を総合して選抜を行う。

一般枠の配点等については、共通テストの合計点（500点）と個別学力検査の合計点（200点）の総合点（700点）、面接（3段階評価）とする。地域枠の配点等については、共通テストの合計点（500点）と個別学力検査の得点（100点、外国語、国語または数学のうち高得点1教科）の総合点（600点）、面接（3段階評価）とする。

共通テストと個別学力検査の利用教科・科目及び配点は以下の通り。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点

①外国語（英語）

- ・配点：100点
- ・共通テストにおいて実施される『英語』（「リーディング」と「リスニング」）と、大学入試センターが認定する英語の資格・検定試験の受験をそれぞれ必須とする。
- ・英語の得点の内訳は次の通り。
 - (ア) 共通テスト英語200点（「リーディング」100点と「リスニング」100点）における得点を、90点を満点とした得点へと換算する。
 - (イ) 資格・検定試験については、文部科学省が公表する「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」におけるA2以上の得点・級を1回以上取得したことが「大学入試英語

成績提供システム」で確認できる者に一律で10点を加点する。

(ウ) 上記 (ア) と (イ) を合計し、100点を満点とした得点を算出する。

②国語

- ・配点：100点
- ・共通テストにおいて実施される『国語』マーク式問題200点における得点を、100点を満点とした得点へと換算する。
- ・記述式問題の段階別評価の結果は利用しない。

③数学

- ・配点：100点
- ・共通テストにおいて実施される『数学I・数学A』、『数学II・数学B』のうちいずれか1科目の受験を必須とする。なお、複数の科目を受験した場合には、最高得点の科目の得点を利用する。
- ・『数学I・数学A』の得点には、記述式問題における得点を含む。

④地歴・公民

- ・配点：100点
- ・共通テストにおいて実施される「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』のうちいずれか1科目を必須とする。なお、複数の科目を受験した場合には、最高得点の科目の得点を利用する。

⑤理科

- ・配点：100点
- ・共通テストにおいて実施される「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」からいずれか2科目、もしくは「物理」、「化学」、「生物」からいずれか1科目の受験を必須とする。なお、複数の科目を受験した場合には、最高得点の科目の得点を利用する。

(2) 個別学力検査の教科・配点

①外国語（英語）

- ・配点：100点
- ・外国語（英語）の受験を必須とする。

②国語または数学

- ・配点：100点
- ・国語と数学については、いずれかの教科を選択して受験することを必須とする。

2 後期日程

調査書の審査、共通テスト、本学が実施する面接の結果を総合して選抜を行う。

配点等については、共通テストの合計点(700点)、面接(3段階評価)とする。

共通テストについては、以下に示す各教科の得点を、100点を満点とする得点へと換算したうえで、さらに次のとおり換算を行う。

- ・国語、地理歴史、公民については、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とする。
- ・数学、理科については、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とする。

(1) 共通テストの利用教科・科目及び配点

①外国語（英語）

- ・配点：100点
- ・共通テストにおいて実施される『英語』（「リーディング」と「リスニング」）と、大学入試センターが認定する英語の資格・検定試験の受験をそれぞれ必須とする。
- ・英語の得点の内訳は次の通り。
 - （ア）共通テスト英語200点（「リーディング」100点と「リスニング」100点）における得点を、80点を満点とした得点へと換算する。
 - （イ）資格・検定試験については、文部科学省が公表する「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」におけるA2以上の得点・級を1回以上取得したことが「大学入試英語成績提供システム」で確認できる者に一律で20点を加点する。
 - （ウ）上記（ア）と（イ）を合計し、100点を満点とした得点を算出する。

②国語

- ・配点：100点（ただし、国語、地理歴史、公民における最高得点の場合には200点配点）
- ・共通テストにおいて実施される『国語』マーク式問題200点における得点を、100点を満点とした得点へと換算する。
- ・記述式問題の段階別評価の結果は利用しない。

③数学

- ・配点：100点（ただし、数学、理科における最高得点の場合には200点配点）
- ・共通テストにおいて実施される『数学I・数学A』、『数学II・数学B』のうちいずれか1科目の受験を必須とする。なお、複数の科目を受験した場合には、最高得点の科目の得点を利用する。
- ・『数学I・数学A』の得点には、記述式問題における得点を含む。

④地歴・公民

- ・配点：100点（ただし、国語、地理歴史、公民における最高得点の場合には200点配点）
- ・共通テストにおいて実施される「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』のうちいずれか1科目を必須とする。なお、複数の科目を受験した場合には、最高得点の科目の得点を利用する。

⑤理科

- ・配点：100点（ただし、数学、理科における最高得点の場合には200点配点）
- ・共通テストにおいて実施される「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」からいずれか2科目、もしくは「物理」、「化学」、「生物」からいずれか1科目の受験を必須

とする。なお、複数の科目を受験した場合には、最高得点の科目の得点を利用する。